

令和6年度第2回鳥取県東部地区教科用図書採択協議会会議録(要旨)

I 期 日 令和6年7月16日(火)午前9時から午後4時45分まで

II 会 場 鳥取市役所本庁舎

III 出席者 採択協議会委員10名 (欠席者なし)

IV 協議内容等

1 開会挨拶(尾室会長)

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今回、調査員にはしっかりと教科書を読み込んでいただいて、お手元には研究調査報告書が届いているかと思います。本日は、来年度から4年間、中学校で使う教科用図書 16 種目を選んでいただくことになります。長丁場になろうかと思いますが、慎重な御審議をいただければと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2 研究調査報告及び質疑、並びに協議及び採択

(1)本日の日程等について(事務局)

○調査員世話人による研究調査報告及び質疑の時間については、各種目10分としている。協議及び採択の時間については、研究調査の対象とした発行者の数に応じて、各種目10分から20分としている。

日程の詳細については、レジュメの表紙で確認いただきたい。

○研究調査の対象については、3ページで確認いただきたい。第1回で確認したとおり、学び舎の歴史教科書は見本本の送付がなかったため、対象外である。

○研究調査の観点については、県の審議会の観点に準じ、4ページ、5ページのとおりである。

○令和3年度から令和6年度まで使用の中学校教科書については、参考資料①で確認いただきたい。

○各種目、まずは調査員世話人が報告をし、その後、質疑応答を行う。調査員世話人退室後、委員による協議を行い、採択する教科書と採択理由について決定する。

○本協議会の組織および運営に関する規則に、「教科書採択の議事は全会一致で決定するようつとめなければならない」とある。委員による協議の上、全会一致で決定していただきたい。

(2)教科書展示会のアンケート結果について(事務局)

○参考資料②は、県の教科書展示会におけるアンケート結果のうち、東部地区のものである。主に歴史について御意見いただいた。

○県の教科書展示会とは別に、岩美町、若桜町で教科書展示会を開催した。アンケートへの回答は、岩美町7件、若桜町0件である。参考資料③は、岩美町のアンケート結果である。協議及び採択の際に、県民の声として参考にしていきたい。

〈会 長〉 このことについて質問等はないか。

〈全 員〉 特になし

(3)研究調査報告及び質疑、並びに協議及び採択

国語

〈会 長〉国語の対象は4社。現在使用しているのは光村図書。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉QRコードがたくさん登場しているが、主体的な学びや個別最適な学びという点で、三省堂と光村図書を比べてどうか。

〈調査員〉光村図書はデジタルコンテンツによって国語に特化した学習ができると感じた。

〈委 員〉光村図書に「資料だけでなく、自己採点が可能なデジタル教材も提示」とある。具体的に説明いただきたい。

〈調査員〉一問一答式のデジタル教材がある。正解、不正解が出て、生徒がドリル的に取り組むことができる。

〈委 員〉文学作品の扱いで特徴的なものはあったか。

〈調査員〉教育出版は1つ1つの教材が長い。時間数が苦しい中で理解させていくことに難しさを感じた。バランスがよいのは光村図書と東京書籍。

〈委 員〉教育出版は難しいということか。

〈調査員〉はい。

〈委 員〉使われているフォントに問題はないか。

〈調査員〉どの社もこだわって配慮している。特に三省堂は具体的に示されていた。

※調査員退室

〈会 長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委 員〉以前、小学校で東京書籍から光村図書に変えたとき大変苦労した。今回の報告では問題があるという意見はなくて、かなりバランスがよいと感じた。小学校からの接続もうまくいっていると聞いたので、光村図書のままだよいのではないか。

〈委 員〉何年前か光村図書に変えて接続に往生した経緯があるので、あえて問題がなければ変える要素はない。

〈委 員〉若手教員の学びにつながるとか、若手教員が使いやすいというところが、東京書籍と光村図書についてあったが、大事なポイント。その他のことを考えても、この2社にしぼられる。学習指導要領が改訂されて4年経った後の教科書であることから、今まで使っていた教科書に大きな支障がないのであれば、継続した方がメリットがある。

〈委 員〉中・西部は東京書籍。そのことは学校として気にする必要はないか。

〈委 員〉ない。高校入試ではどうか考えたときもあったが、教科書で問題、入試が変わるわけではない。

〈委 員〉今、実際に学校で使っているのが光村図書であれば、それでよい。

〈会 長〉光村図書がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、国語は光村図書で決定してよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉全会一致で、国語は光村図書に決定する。採択理由は「育成すべき資質・能力を考慮した教材配置がなされており、バランスがよい。『読むこと』『書くこと』『話すこと・聞くこと』の学習が単元の中で関係づけられており、一単元の中で幅広く学習できる。各教材は、『学びへの扉』で学習の流れを捉え主体的に取り組むことができるように構成されている。学習の最後には、3観点に基づいた振り返りも用意されている。付録の『語彙ブック』は、生きてはたらく言葉の習得に有効である。QRコードからは、資料だけでなく、自己採点が可能なデジタルコンテンツなどを利用することができ、個別最適な学びで生徒の意欲を高める工夫もなされている。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

書写

〈会 長〉書写の対象は4社。現在使用しているのは光村図書。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉国語とそろえた方がよいメリットはあるか。逆に、違うと何かデメリットが生じるか。

〈調査員〉メリットとまではいかないが、国語で取り扱われている教材が書写でも取り扱われている。例えば硬筆で枕草子の冒頭文。国語で学んだことを書写で生かすということはしやすい。

〈委 員〉東京書籍や光村図書に「基礎・基本」「原理・原則」とある。光村図書には「普遍的に活用」とあるが、具体的に何が示してあるか。

〈調査員〉例えば筆順の変化について、行書の本来の目的である「早く整えて書く」ために筆順が変化することがあるということが普遍的な部分。そこが「学びのカギ」として示しており、普段の生活にも生かしていきやすい。

〈委 員〉それが光村図書であれば特徴的だということか。

〈調査員〉はい。東京書籍であれば例えば「行書では早く滑らかに書くために変化が省略されることがある」ということ。

〈委 員〉東京書籍に「左利きの生徒も教材文字を見ながら書くことができるようにレイアウト」とあるが、他社はどうか。また、光村図書に「運筆動画」とあるが、他社はどうか。

〈調査員〉QRコードについては、どの社にもついている。光村図書だけに特徴的なわけではない。左利きの生徒向けのレイアウトの工夫は、他社では見つけられなかった。ただし、書体などについては、各社で工夫がなされている。光村図書は色覚の多様性に配慮し、配色を工夫している。教育出版は左利きの道具の配置を示してある。

※調査員退室

〈会 長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委 員〉どの社も、子どもたちが自分でどういうふうに変わったとか、できるようになったとか、そういうことが明らかに分かるようになっている。今、使用している教科書が明らかによくないということではなければ、そのままでもいいのではないか。QRコードはどれも充実している。いろいろな字体についても紹介

してある。

〈委員〉書写を学ぶ意義、なぜこれをこう学ぶかという、中学生が疑問に思うこともぜひ考えてほしい。東京書籍に限らず、生活の中に結びつけて生かしていくことができる。光村図書では、手書きとデジタル、それぞれのよさや特徴について考える教材が新設された。手書きの価値について考えるきっかけになるというところは大事にしてほしい。三省堂にも「手書きの意義を認識できるよう」とある。

〈会長〉どれを推されるか。

〈委員〉難しい選択になるが、やはり使い慣れている光村図書がよいのではないか。

〈会長〉光村図書がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、書写は光村図書で決定してよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉全会一致で、書写は光村図書に決定する。採択理由は「学習のポイントがひと目で分かる『学びのカギ』が設けられ、普遍的に活用できる基礎・基本が明示されている。すべての教材に『目標』『振り返ろう』が明示されており、知識・技能の定着や自己の変容を確かめることができる。学習の展開がひと目で分かる構成であり、見通しをもって主体的に取り組むことができる。教材冒頭には話し合い活動が設定され、対話を通した思考力・判断力・表現力の育成に配慮されている。手書きのよさについて考えを深める教材が新たに設けられた。運筆動画や、用具の準備・片付けの解説動画、アニメーションなどのデジタルコンテンツも豊富に用意されている。」でよろしいか。

〈全員〉はい。

地理

〈会長〉地理の対象は4社。現在使用しているのは帝国書院。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会長〉報告について質問等はないか。

〈委員〉QRコードについて、帝国書院にはないのか。

〈調査員〉帝国書院にもある。どの社にもデジタルコンテンツはある。

〈委員〉帝国書院に「単元を貫く問いに対してアプローチしやすくなるように発問や資料が工夫されている」とある一方、「単元のテーマを概観するような構成としては十分でなく、単元の最初に課題追究的な視点を提示する場面を補足する必要がある」ともある。矛盾しているような印象を受けるが、いかがか。

〈調査員〉議論の1つになったのが、単元を貫く問いに対して、生徒や教員がいかに見通しをもてるか。東京書籍は視点が明確に打ち出されていた。帝国書院も分かりやすいように書かれているが、東京書籍と比べると見えにくかった。

〈委員〉そこは生徒や教員がしっかりと深めていく必要があるということか。

〈調査員〉はい。

〈委員〉地図と地理の関連を特に考える必要はないか。

〈調査員〉異なっても特に問題ない。

〈委員〉地理は特に、資料をもとにしながら思考を深めていくところが大事。思考の深めやすさについて、

東京書籍と帝国書院を比べてどうか。

〈調査員〉東京書籍の方が単元を貫く構成が構造化されており、生徒や教員にとっては見通しをもちやすい。議論の中で、知識・技能の定着があつての思考活動という意見があつた。知識・技能の定着という点では、帝国書院の方が注釈やものの考え方が丁寧に押さえられている。総合的に見ると、帝国書院の方が具体的に思考・判断する活動は取り組みやすいのではないかという結論になった。

〈委員〉各社の特徴的な内容について、例えば東京書籍や帝国書院で力を入れている内容はあるか。

〈調査員〉例えば中国地方。ふるさとキャリア教育や少子高齢化がテーマとして挙げられる。鳥取県や島根県を題材にしているのは帝国書院。東京書籍はそこまで踏み込んでおらず、ふるさとキャリア教育や少子高齢化についてより具体的なイメージをもっているのが帝国書院。

※調査員退室

〈会長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委員〉帝国書院に「授業で活用しやすい教科書」とある。現場からすると変える必要はない。

〈委員〉地図も帝国書院で同じ配色。作業する上では同じ方がしやすい。写真や資料が本文と一致して見やすいのは帝国書院という印象を受けた。

〈会長〉小学校は、教科書が東京書籍で、地図が帝国書院。その接続は関係ないか。

〈委員〉違和感はない。

〈会長〉帝国書院がよいのではないかという意見が多くあつた。反対意見がないようであれば、地理は帝国書院で決定してよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉全会一致で、地理は帝国書院に決定する。採択理由は「現行の教科書の形式を踏襲しながら、単元を貫く問いに対してより具体的にアプローチしやすくなるよう発問や資料が工夫されている。特に、地理的な見方・考え方、地図帳、思考ツールの活用などの『学び方』を学ぶことができるページや、スモールステップとなるヒントを提示したり対話でまとめを深めたりする単元のまとめページなどは生徒にとって使いやすい。資料や写真が精選されており、文章のレイアウトを含め、視覚情報としても学習しやすいよう工夫されている。全体として、注釈の多さや、資料や文章の配置から、授業で活用しやすい教科書である。」でよろしいか。

〈全員〉はい。

歴史

〈会長〉歴史の対象は8社。現在使用しているのは東京書籍。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会長〉報告について質問等はないか。

〈委員〉歴史の教科書は、政治的な要素が入ってきて難しいところがある。中立的な、偏りがあまりないと思った教科書はどこか。

〈調査員〉政治的な要素があまり感じられなかったものはいくつかある。逆に、感じられたものを挙げると、令和書籍や育鵬社は少しそのような感じがあつた。

〈委員〉歴史については、新しい学説が出されたり、見方が変わってきたりということがあるが、それらはどの教科書にも反映されているか。

〈調査員〉はい。教科書によっては、学説がいくつか書かれている。どの肖像画を使うか、最新の研究成果が取り入れられていて、今までと違う教科書もある。

〈委員〉歴史の教科書ということで、日本のこれまでの歴史について記述することは当然。その歴史を踏まえた上で、未来への展望も書かれているような教科書はあるか。

〈調査員〉将来に向けて、例えばその地域の歴史を学ぶというところ、鳥取なら鳥取の歴史を学ぶという特集ページが特に組まれているのは東京書籍や帝国書院。どの社もそれなりに作っているが。豊富に作っているのは帝国書院。

〈委員〉現在、地理と歴史で教科書会社が異なっている。そのことによって、難しい、いや大丈夫だ、といった現場感覚を聞きたい。

〈調査員〉どちらの教科書会社も使いやすい。帝国書院から東京書籍に変わったときに年間指導計画の作成で困惑したということは聞いたことがあるが、東京書籍であっても問題解決型の学習に変わりはない。むしろ思考ツールが使われていて、考える手立てが教科書に書かれていることは生徒にとって使いやすいと感じる。

〈委員〉例えばどのような思考ツールが準備されているか。

〈調査員〉単元のまとめでは、その単元を貫く問いに答えるための具体例が提示されている。例えば、クラゲチャートやXチャート。単元ごとに異なっていて、いろいろな思考ツールを最終的には選べるように学習する。ただし、そこで示されている思考ツールを絶対に使わなくてはならないというわけではなく、他のものを選択してもよい。

〈委員〉小学校は東京書籍。小学校との関連を気にする必要はないか。

〈調査員〉小学校の教科書を意識して授業づくりを進めている。例えば使用されているイラストに関連があることで、小学校の知識を呼び起こしやすい面はある。

※調査員退室

〈会長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委員〉東京書籍の冒頭「なぜこの歴史を学ぶのか」という部分は、自由社にも書いてあるが、東京書籍の場合、未来のことを考えていくという意味合いで歴史を学んでいくと書かれており、大変よい。その反面、自由社は先祖が生きてきた足跡を学ぶことと書かれている。過去を見つめることを一生懸命しているが、どちらかというとも未来を見つめたい。

〈委員〉東京書籍に「対話的な学びを意識して作成されている」とある。特に歴史については、1つの資料でもいくつかの見方によって見ることで広がりが出てくることが大事。その点で対話的な学びを重視した教科書がよい。

〈委員〉東京書籍は韓国や中国に配慮しすぎている感じが若干する。それではどこがよいかと聞かれると困るが。次回はその点についても考えてみたい。

〈委員〉歴史を勉強するときに子どもが一番わくわくするところは何だろうと考えると、地元の歴史に触れることが一番わくわくするに部分につながってくるのではないかな。報告では、東京書籍にも各社にもあ

ると言われたが、そのところがしっかりと考えてある東京書籍や帝国書院がよいのではないか。

〈会 長〉東京書籍がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、歴史は東京書籍で決定してよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉全会一致で、歴史は東京書籍に決定する。採択理由は「導入、展開、まとめのサイクルで構成されており、主体的に取り組むことができる。1時間ごとの『チェック＆トライ』では、知識・技能の習得を図ることができる。各章の導入では、グループワークを踏まえて章を貫く問いが設定され、まとめでは、その問いに思考ツールを用いて迫る工夫がなされている。『未来にアクセス』では、持続可能な社会の実現に向けた取組が紹介されている。学習している時代を示す年表が大きく表示されており、時代感覚をつかみやすい。QRコードを読み取れば、資料や思考ツールを活用できる。すべての生徒が使いやすい、バランスの取れた教科書である。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

公民

〈会 長〉公民の対象は6社。現在使用しているのは東京書籍。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおりに)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉大変バランスよく構成されているのは帝国書院と東京書籍。2社の違いはどうか。

〈調査員〉貫く問いは、章よりも単元で扱った方が生徒は学習しやすい。章と単元のバランスに6社それぞれの特徴がある。また、今日的な課題は山のようにあるが、生徒が学習する際にしぼりすぎてもいけない。5項目ぐらい取り上げられているのがよい。そのあたりにも6社の違いが出ている。

〈委 員〉今、東京書籍を使っている。まとまり感としては、使いづらいか、使いやすいか。

〈調査員〉章と単元のバランスを考えると、東京書籍や帝国書院は無難に構成できている。

〈委 員〉東京書籍の方が単元ごとの扱いになっていて、どちらかという取り組みやすいということか。

〈調査員〉全体像や、小学校と中学校の学習内容のつながり、章と単元のバランスを見ると、東京書籍か帝国書院。甲乙つけがたい。

※調査員退室

〈会 長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委 員〉東京書籍と帝国書院の違いを見たかったが、甲乙つけがたいということだった。そうであれば、変える必要はないのではないか。

〈委 員〉甲乙つけがたいということであれば、変える必要はないのではないか。

〈委 員〉公民は現代的な課題に一番密接、直面している。課題をしぼりすぎてもいけないというところで、東京書籍か帝国書院かということだった。教科書を変えることによって年間指導計画を変える負担等があるのであれば、これまでと同じでよい。

〈会 長〉東京書籍がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、公民は東京書籍で決定してよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉全会一致で、公民は東京書籍に決定する。採択理由は「章を貫く探究課題を段階を踏んでスムーズに解決できるよう構成されている。章末のまとめも、『確かめよう』『ふり返ろう』『深めよう』の3段階に分けられており、生徒にとって取り組みやすい。思考を深めることができるよう思考ツールを用いたり、章全体を概観できるよう探究課題を節ごとに振り返るようにしたりするなどの工夫もある。地理的分野、歴史的分野とつなぐ表示があり、他分野との関連が分かりやすい。デジタルコンテンツが充実しており、関連する動画を視聴しながら学ぶことができる。今日的な課題についても、5つの観点で3年間の学習をまとめる設定となっている。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

地図

〈会 長〉地図の対象は2社。現在使用しているのは帝国書院。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉見やすい地図とは具体的にどういうことか。

〈調査員〉イラストがたくさん入っていて、地域の産業や生活、特色を一目でつかみやすくしてあるということ。東京書籍はそれらを除いて地図を読ませる。そのような点で違いがある。

〈委 員〉色の濃さという点で、帝国書院ははっきり見えた。違いはどうか。

〈調査員〉調査員は全員、教員になってからずっと帝国書院を使用している。慣れもあって、帝国書院の方が見やすい。東京書籍も色づかいを配慮している。調査員が見ると色が薄いと感じるが、東京書籍の方が見やすいと感じる人はいるかもしれない。

〈委 員〉教員側の問題であって、生徒にとってはそれほど関係ないということか。

〈調査員〉はい。

〈委 員〉地図の大事なところとしては、見やすさに加えて、資料のアクセスのしやすさ、詳しさ、どれぐらいアップデートされているか。資料についてはどうか。

〈調査員〉どちらも必要な資料が載っている。ページ数の関係もあって、資料数や情報量は帝国書院の方が多い。また、帝国書院の方が最新の資料が多かった。なるべく最新の資料が使われている方がよい。

※調査員退室

〈会 長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委 員〉情報量が多いということが地図の魅力。地図で学ぶことも大事だが、地図をとおして調べ物もする。また、帝国書院の方が重さが軽い感じがする。

〈委 員〉同じ地方を扱ったページを見比べたとき、フォントなど、帝国書院の方が見やすかった。同じ統計資料を見比べたとき、帝国書院の方が新しかった。地図帳は3年間使うので、できるだけ最新がよい。

〈会 長〉帝国書院がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、地図は帝国書院で決定してよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉全会一致で、地図は帝国書院に決定する。採択理由は「地理的分野の内容に沿って編集されているが、歴史的分野、公民的分野でも活用できる。全体的に明るい色づかいで見やすい。世界と日本の地域的特色を捉えやすくするためにイラスト入りの鳥瞰図を取り入れたり、地図から地域間の結びつきを的確に捉えることができるように工夫したりするなど、地理学習を行っていく上で活用しやすい地図帳である。一人一台端末で活用できるデジタルコンテンツや、SDGsについて考察したり自然災害や防災への意識を高めたりできる資料が豊富である。生徒が3年間使用するにあたり、最新の統計資料が掲載されている点も評価できる。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

数学

〈会 長〉数学の対象は7社。現在使用しているのは啓林館。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉教科書を変えることにより、現場の教員にとって何か変わることはあるか。

〈調査員〉数学は、教科書が変わっても教える内容はほとんど変わらない。教える順番が多少入れ替わるぐらい。年度当初に作成する年間指導計画は少し変わる可能性がある。

〈委 員〉デジタルコンテンツがいろいろあるというのは確かにそうだが、そればかりではなく、教科書をもとに授業する教員もいる。啓林館と東京書籍の内容の特徴や、若手教員の指導しやすさはどうか。

〈調査員〉内容について、啓林館が大きく変わったという印象はないが、生徒目線では啓林館が見やすいと感じる。若手教員の指導しやすさという点で議論していないが、教える内容に大きな差はない。実生活と数学がどのように結びついているかについての扱いは、啓林館よりも東京書籍の方が多かった。

〈委 員〉数学で一番大切にしていきたいのは、問題解決的な学びのプロセス。そのことについて、啓林館は報告書に書かれているが、東京書籍はどうか。

〈調査員〉報告書には特徴的なところ、他社にはないところを書いている。従来の、教科書を見ながら学習をしていくという点では、啓林館にしても、その他にしても、大きな差は感じられなかった。学校として一人一台端末の活用を推進するにあたり、QRコード1つ読み取るだけで、復習問題や解答のページに手軽に移動してドリル学習などができるのは特徴的である。

〈委 員〉問題解決的な学びのプロセスについては、東京書籍と啓林館に差はないか。

〈調査員〉防災教育や平和教育など実生活に応じた問題解決学習という点は、東京書籍の方が多かった。

〈委 員〉デジタルコンテンツの充実について、量が決定的に違うとか、こういう部分が進化しているとか、詳しく説明してもらいたい。

〈調査員〉啓林館の動画は、無音で説明されていく。東京書籍は、YouTubeのような動画が流れ、これについてどう考えていけばいいだろうかといった音声もある。NHKforschoolに近い。賛否が分かれるかもしれない。動画の見やすさ、ユニークさ、問題演習の量や扱いやすさという部分で違いがあった。

〈委 員〉啓林館に「取り扱う題材の選定にあたっては、全国学力・学習状況調査で課題とされた問題が配置されている」とある。他社でも配置されているか。

〈調査員〉すべての教科書で把握しているわけではない。啓林館は、毎回ではないが、全国学調の問題が散りばめられていると認識している。東京書籍にどれほどあったか明確な回答は今はできない。

〈委員〉問題解決に至る前に、問題を発見する、問題を見いだすところも学習指導要領では大事にされている。啓林館に「問題発見」とあるが、2社を比較してどうか。また、教科書が変わったときに、1年生で使用した教科書と、2年生で使用する教科書が異なることになるが、弊害はないか。

〈調査員〉1点目。1年生の内容で、例えば200メートルトラックで、何メートル前に出したら同じになるかというような問題はどちらにもある。東京書籍の場合、問題提起の場面でQRコードを読み取ると動画が流れ、実際に求めてみようとなり、問題解決として進めやすい。ただし、その動画を使うか使わないかは教員によるが。2点目。教科書を変えた場合、小規模校や特別支援学級で1人の教員が複数学年の授業をしなければならぬときに、学年で教科書が異なることによる教材研究の負担感があるかもしれない。

〈委員〉割と難しい問題が、東京書籍では本編にあって、啓林館では最後の問題練習にある。数学が難しい生徒にとっては、本編ではなく、最後の問題練習にある方がよいのではないか。啓林館は、そのことを見越して、まず基本的な問題があり、最終的に章末問題があるという形にしているのではないか。生徒の取り組みやすさという点でどうか。

〈調査員〉難易度という視点ではあまり議論していない。扱っている題材については大きな差はないので、難易度を指摘されると、啓林館の方が苦手な生徒も扱いやすいのではないか。ただし、例示された以外の分野ではどうかについては今この場で回答できない。

〈委員〉東京書籍は、高校で通用するような難しい問題も入っている。個別最適な学びという点で配慮されているのだと思うが、ほとんどの問題が難しくなっているという雰囲気が感じ取れる。議論の中に出てこなかったか。

〈調査員〉啓林館は、今回、色づかいが変わっているが、扱っている題材にしてもデジタルコンテンツにしても大きな変化は見られなかった。逆に言うと、そのことで教員には安心感があるかもしれない。一人一台端末が入ってきたことで、低位な生徒に対してのフォローがデジタルコンテンツでできるようになった。デジタルコンテンツの充実についての議論を優先し、難易度の差まであまり議論できていない。

〈委員〉今回は少しだけの改訂と聞いているが。

〈調査員〉現行の教科書では明らかに啓林館の見やすい、扱いやすい。今回、東京書籍は質という点で大幅に改訂されたと感じた。

〈委員〉大変わりした内容というのがデジタルコンテンツということか。

〈調査員〉はい。

〈委員〉どの社もデジタルコンテンツを充実しようという状況。他にはどうか。

〈調査員〉現行の教科書では、色合いだったり、見やすさだったり、啓林館の方がよい。東京書籍は現行よりも大幅に改訂されている。他社にもデジタルコンテンツがあるが、使いやすさという点では啓林館を含めて劣るのではないか。

※調査員退室

〈会長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委員〉啓林館か東京書籍か。啓林館は少しずつステップアップしていけるのがよい。東京書籍は少しポ

ンとハードルが高いところがある。個別最適な学びというと苦手な生徒に目が行きがちだが、得意な生徒にも目を向けなくてはならないと考えると、どちらがよいか迷う。デジタルコンテンツで補完するか、教員が準備するか。

〈委員〉今回、学習指導要領が変わっているわけではない。その中でデジタルコンテンツの扱いが決定的に違うという報告だった。個別最適という話も出たが、報告内容は大事にしたい。年間指導計画の作成は、前年踏襲できないので大変だろうぐらい。

〈委員〉身近な生活と数学をどう結びつけるかということを、東京書籍は意識して作られている印象がある。ただし、生徒が教科書を使って学ぶときに、ある程度のステップアップを経験して上がった方が理解しやすいということであれば、そのことが選ぶ重要な要因になるのではないかな。年間指導計画については、教科書会社が基本的なものを提示している。また、中教振で共有するなどすれば、負担も軽減できる。まずは、教科書の中身が生徒にとって学びやすいものかどうか。

〈委員〉東京書籍の方が少しレベルが高い。生徒はついていけるだろうか。東京書籍にはドリル学習がついているということだが、それでどこまで補完できるのか気になる。

〈委員〉啓林館には「数学と日常とのつながり」とある。東京書籍には「職業人のインタビュー」や「人間性の幅を広げる」とある。生活に密着するのであれば、啓林館の方が。デジタルコンテンツについては、教科書を見てから、もう少し広げたり、詳しく知ったりする際に利用するものではないか。

〈委員〉次回が大変わり。今回は、これまでの反省を生かしての改訂。今まで使用していた啓林館を否定するものではない。次回の大変わりのときに加味して考えることが大事ではないか。

〈委員〉デジタルコンテンツは検定の対象ではないので、各社が特徴を出しやすい部分。それが学校現場の教員には新鮮だったのではないかな。教科書の本編自体はそれほど大きく変わっているわけではない。数学が嫌いな生徒が増えていることを考えると、基礎的なものから準備していくことが大切。最初の例題は、どの生徒にもできるような難易度がよい。そこからレベルが高いものになっていくのがよい。啓林館は比較的そのような説明であった。

〈委員〉問題解決のプロセス、問題発見について大事にしていると言葉として教科書にはっきり書いているのは啓林館。そのことを受けとめて授業に生かすのは教員だが、位置づけられていることは大事。教科書が変わったときに小規模校で困るかもしれないとあったが、すべての学年で東京書籍を使用するので、啓林館と両方使用することはない。ただし、1年生のときは啓林館、2、3年生のときは東京書籍といったときに少し違いを感じるかもしれない。デジタルコンテンツについては、教員によって扱い方に違いがあるのではないかな。あとは年間指導計画を変えなければならない。今回は学習指導要領が同じでマイナーチェンジとなると、同じ教科書会社がよいのではないかな。

〈委員〉教科書を変えらるゝするならば、納得のいく理由づけが必ず必要。そこまでのものが準備できるか。今の段階で変えるのは大変ではないかな。

〈会長〉啓林館がよいのではないかなという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、数学は啓林館で決定してよろしいかな。

〈全員〉はい。

〈会長〉全会一致で、数学は啓林館に決定する。採択理由は「問題発見や解決の場面で意識させたい数

学的な見方・考え方が『たいせつな考え方』として明示されている。生徒がそれらを体得し『生きる力』につなげることが意図されている。問題の選定にあたっては、全国学力・学習状況調査で明らかになった課題が考慮されている。また、平易な問題から段階を踏んで配置されており、苦手意識のある生徒にとっても学習しやすい。数学と日常とのつながりや、新しいことがらを学習する意義を感じることができるような導入の工夫もある。実際に図形等を動かすことができるシミュレーションや、補充問題、解説動画などのデジタルコンテンツも充実している。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

理科

〈会 長〉理科の対象は5社。現在使用しているのは啓林館。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉啓林館について、問いを立てるしかけや、最後の振り返りを促すしかけは現行でもあるか。

〈調査員〉学習前の問いと学習後の問いという形で記載はあるが、それを使う、使わないは教員しだい。現行では大きな単元の中での問いだったが、今回は、章ごと、単元ごとに細かく作られている。ワークシートやQRコードがついているので、使う教員が増えるのではないか。

〈委 員〉単元の内容・構成について、教科書によって単元の数異なるがどうということか。

〈調査員〉「科学技術と私たちの暮らし」を分けるかどうか。食物連鎖の学習に環境の学習を入れている教科書もある。分け方が違うだけで内容は一緒。まとめて学習するか、別々に学習するかという違い。

〈委 員〉まとめたときに生徒の学びやすさはどうか。

〈調査員〉現行においても、食物連鎖と環境の学習を一緒にした方が生徒は分かりやすいと感じる教員はまとめて教えている。構成に関わらず、学習する順番は自由なので。

〈委 員〉数が違うからといって問題になるということではないか。

〈調査員〉問題ではない。

※調査員退室

〈会 長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委 員〉啓林館では「ふり返しシート」が準備されている。授業を進めていく上で、最初に理解状況を確認し、その後学習していく中で理解が深まって、結論が出る。その中で何を学んだか振り返る。このことに重きを置いているところがよい。「学ぶ意味や有用性、自身の成長を実感できるような工夫がある」とあるのも印象的。

〈委 員〉啓林館には「はてなスイッチ」や写真から探究の課題を設定するしかけがある。課題がはっきりしているからこそ向かっていけるというところを大事にしている啓林館がよい。

〈会 長〉啓林館がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、理科は啓林館で決定してよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉全会一致で、理科は啓林館に決定する。採択理由は「各章は探究の流れ(疑問、課題、仮説、計画、

観察・実験、結果、考察、表現)に沿って構成されている。導入では、ビジュアルな写真・資料提示と、『はてなスイッチ』の動画視聴により、生徒が疑問や課題を主体的に見出しやすいように工夫されている。各単元に1つの『探Q実験』でも、探究する力の育成が意図されている。また、各単元の最初と最後にある『トライ』『リトライ』の取組に『ふり返しシート』を用いることで、学ぶ意味や有用性、自身の成長を生徒が実感できるようにもしている。QRコードを使って3年間合計587個のコンテンツを利用でき、視覚的に学びを支援する工夫もある。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

音楽一般

〈会 長〉音楽一般の対象は2社。現在使用しているのは教育芸術社。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉日本の楽器や曲の扱いはどうか。

〈調査員〉曲に違いはあるが、どちらも充実してかなり深く書いてあった。日本の楽器とアジアからの流れや、民謡はどちらにもあった。バランスとしては同じ。

〈委 員〉曲を聞いたときに感じたことを表現する言葉の提示はどうか。

〈調査員〉教育出版は、感じた気持ちを速度などで説明する。構成要素は「楽典」に載っている。教育芸術社は、それが具体的に示されていたり、例えば「明るい」というときはどの項目が整理されていたりする。

〈委 員〉授業する側としては具体的な言葉がたくさんある方がやりやすいか。

〈調査員〉やりやすい。提示されていると生徒は説明しやすい。

〈委 員〉「音楽を形づくっている要素」とあるが、教育芸術社はポイントが明確になっていたり一覧表になっていたりする。教育出版にもあるが、やや高度である。その違いはどのあたりか。

〈調査員〉教育出版の「楽典」の最後の文言や、内容の使い方といったあたりは、教育芸術社の方が見やすくなった。教育出版は発展的な内容が明記してあったので、少し高度だと感じた。それよりも整理して書いてある方が見やすい。

〈委 員〉授業では教育芸術社の方が活用しやすいか。

〈調査員〉活用という意味では、教育芸術社のようにまとまっている方が見やすい。

※調査員退室

〈会 長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委 員〉「音楽を形づくっている要素」など、教員が授業する上で使いやすい方がよい。

〈委 員〉音楽を聞くとときにどのような言葉を使っていくか。その言葉によって豊かにまた音楽を聞けるようになる。そのようなところで教育芸術社が充実しているのはよい。私も音楽の授業をしていたが、表現する言葉の数が少ないこと、表現が単調になってしまうことが気になっていた。そのあたりが、これからの生涯音楽を目指すということからも大事。

〈委 員〉音楽は、協働であるとか、他者を意識しながら学ぶということが大事。その点はどちらも配慮されている。教育芸術社は「UDフォントの使用」「特別支援教育への配慮やUD化が意識されている」とあ

る。音楽の授業は特別支援学級の生徒と一緒に受けることが多い。そのようなところにも配慮されている教育芸術社がよい。

〈会 長〉教育芸術社がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、音楽一般は教育芸術社で決定してよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉全会一致で、音楽一般は教育芸術社に決定する。採択理由は『学びの地図』では、生徒が1年間を見通したり振り返ったりして主体的に学ぶことができるように学習内容がまとめられている。各題材には『音楽を形づくっている要素』が記載されており、身につけさせたい力が明確で授業しやすい。生徒も要素に着目した表現が可能である。また、生徒の思考を深めるために、見方・考え方を働かせるポイントも明記されている。『音楽の約束』では精選された基礎知識が、新設の『学びのコンパス』では主体的・対話的で深い学びにつながるワークシートがそれぞれ提示されている。QRコードを読み取れば、個別でもパート練習や楽曲の視聴が可能である。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

器楽合奏

〈会 長〉器楽合奏の対象は2社。現在使用しているのは教育芸術社。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉音楽一般と器楽合奏で教科書会社は同じ方がよいか。

〈調査員〉できれば同じ方がよい。長年使用しているからというところはあるが、教育芸術社の方が見やすい。教育出版は、開いて見たときに情報が混雑している印象がある。色づかいのせいかもしれない。ここに目を奪われる生徒にとっては使いづらいかもしれない。

〈委 員〉音楽一般に出ている曲が発展的に器楽合奏につながっているとか、音楽一般に出ている扱い方が器楽合奏にもつながっているというような関係性についてはどうか。

〈調査員〉特にはない。

〈委 員〉和楽器の扱いに違いはないか。

〈調査員〉載っている楽器は一緒だが、学習を進めていく中で指導のやり方が若干違ってくる印象がある。

〈委 員〉QRコードを読み取って伴奏や模範演奏が聞けるということだが、音の速さを変えることはできるか。

〈調査員〉そこまで確認できていない。

※調査員退室

〈会 長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委 員〉教育芸術社には伴奏が入っているということで、1人でも楽しめる。また、「これまでの多くの実践の中で、技能取得のための指導法、知見が蓄積され、不動の楽曲として収斂された」とある。だからこそ教員は指導しやすいのだろうし、生徒も取り組みやすさから技術を身につけていくことがうまくいくのだろう。

〈会 長〉小学校と中学校で教科書会社が違っても問題ないということだが、どうか。

〈会 長〉教育芸術社がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、器楽合奏は教育芸術社で決定してよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉全会一致で、美術は教育芸術社に決定する。採択理由は「生徒の興味・関心を考慮しつつ、指導法や知見が蓄積された楽曲が取り扱われるなど指導者にとって学習指導計画を立案しやすい教科書である。『学びの地図』は学習内容がひと目で分かり、生徒も指導者も見通しをもつことができる。各楽器の冒頭には、生徒の意欲を高めるための工夫がある。『My Melody』『学びのコンパス』では、創作活動や協働的な学びを通して、思考力、表現力を深めることができる。日本の伝統芸能や文化も多く取り扱われている。楽曲の伴奏音源が豊富であり、簡単な操作で音を確認しながら作業できる『創作ツール』もQRコードから利用できる。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

美術

〈会 長〉美術の対象は3社。現在使用しているのは日本文教出版。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉開隆堂に「他教科で学んだ知識を表現や鑑賞に生かす題材」とある。日本文教出版にも「総合的な学習の時間や特別活動など教科横断的に扱いやすい題材」とある。光村図書はどうか。

〈調査員〉3社とも他教科とのつながりについては工夫していて、生徒がどの教科とつながっているかが分かるように明記してある。

〈委 員〉日本文教出版に「インクルーシブ教育の視点」とある。例えば、障害のある方の作品が扱われているということか。

〈調査員〉それだけでなく、海外の生徒の作品も掲載してある。

〈委 員〉他社はどうか。

〈調査員〉他社にも同じようにある。

〈委 員〉美術館との関連、例えば美術館に行ってみようというような扱いはあるか。

〈調査員〉美術館に行ってみようであるとか、美術館はこのような仕組みだというようなところは、各社、これまでどおり掲載してある。

〈委 員〉対話的な学び、協働的な学びを援助するしかけはあるか。

〈調査員〉特に鑑賞で、お互いに作品を見たり、作品についてお互いに言葉を交わし合ったりする工夫が、どの社にもある。実際に授業ではそのような場面を取り入れているので、どの社でも使いやすい。

〈委 員〉日本文教出版には「鑑賞と表現の一体化」、光村図書には「表現と鑑賞の相互の関連を意識」とある。開隆堂はどうか。

〈調査員〉2社と同じように関連が分かるようにしてある。

〈委 員〉日本文教出版は「一体化」という言葉で記述してあるが、どういうことか。

〈調査員〉日本文教出版は資料がたくさんある分、鑑賞の表現のどちらからでも始められる。他社は、授業のやりやすさも考えて資料の数を少し抑えている。

〈委員〉日本文教出版は3冊、他社は2冊にまとめている。2冊の方がよいのか。3冊に分かれていても差し支えないのか。

〈調査員〉学習指導要領は2、3年でひとくりにされている。日本文教出版は2、3年が上下に別れ、2冊持つことになる。今日は下を持ってきて、今日はどちらも持ってきてと指示する教員もいる。2、3年で1冊の場合、2年間ずっと持ち続けるという点で指導のしやすさがあるかもしれない。ただし、進み具合もあり、軽量化が考えられているのではないか。

※調査員退室

〈会長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委員〉特に差がないということだった。光村図書の「自分の気持ちを表す語群が豊富」というところは魅力的。開隆堂には見開きで日本画の屏風絵があって面白い。しかし、日本文教出版から変える必要まではないのではないか。

〈委員〉鑑賞では生徒のものの見方が出てくる。いろいろな見方があって、それを暗いと見る者もいれば、明るいとする者もいると考えたときに、「対話的な学び」や「鑑賞と表現の一体化」というところは魅力的。

〈会長〉日本文教出版がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、美術は日本文教出版で決定してよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉全会一致で、美術は日本文教出版に決定する。採択理由は「各題材において、『鑑賞の入り口』と『造形的な視点』を示し、鑑賞と表現を一体的に取り扱っている。すべての題材に導入デジタルコンテンツ『学びのはじめに』や『作者の言葉』『表現のヒント』を掲載したり、材料や用具の取り扱いを『学びを支える資料』として各巻末にまとめたりするなど、生徒の活動を充実させる工夫が見られる。自社アプリを開発し、生徒がICTを活用した新しい表現に挑戦できるようにもしている。実物大作品等、掲載図版はさらに充実した。表表紙から裏表紙にわたって作品が掲載されており、鑑賞資料として活用できる工夫がなされている。」でよろしいか。

〈全員〉はい。

保健体育

〈会長〉保健体育の対象は4社。現在使用しているのは東京書籍。報告をお願いする。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会長〉報告について質問等はないか。

〈委員〉デジタルコンテンツにはどのような動画が入っているか。

〈調査員〉心肺蘇生法、たばこの害、交通事故など。東京書籍の場合、例えば交通事故であれば、死角について1つ、内輪差について1つというように細かく分かれているため、動画の数としては多い。

※調査員退室

〈会長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委員〉4社の一番大きな違いは教材の配列。東京書籍は最初に傷害の防止がもってきてあって指導もしやすいということだったので、東京書籍がよい。

〈委員〉東京書籍に「小学校や高校の学習内容も表記」とある。指導者として知っておかなければならないことではあるが、小学校ではこのような学習をしたであるとか、高校ではこのような学習をするといったことが明記されているのはよい。

〈委員〉今日的な課題や性に関わる問題については、特にこの社がこうだということは感じなかった。

〈委員〉東京書籍は生徒の日常生活に関わる内容が多い印象。習得した知識・技能を「活用する」「広げる」で活用し、自らの課題を見つけより深く学習できるように工夫されているところがよい。

〈会長〉東京書籍がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、保健体育は東京書籍で決定してよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉全会一致で、保健体育は東京書籍に決定する。採択理由は「1時間の授業の流れが分かりやすく、生徒は見通しをもって取り組むことができる。『活用する』『広げる』では、習得した知識・技能を活用して発展的な学習をしたり、自分の課題を見つけてより深く学習したりできる。今日的な課題についても取り上げられ、生徒が自分事として考えることができるように工夫されている。小学校や高校の学習内容も表記されており、系統性のある指導が可能である。また、中学生の実態に合わせ、『傷害の防止』が学年冒頭に配列されている。動画、思考ツール、シミュレーションなど、思考を深め学びを広げるためのデジタルコンテンツも充実している。」でよろしいか。

〈全員〉はい。

技術

〈会長〉技術の対象は3社。現在使用しているのは開隆堂。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会長〉報告について質問等はないか。

〈委員〉技術と家庭の教科書会社は統一した方が望ましいか。違っても問題ないか。

〈調査員〉問題ないと言えば問題ないが、3社でサイズが違う。同じ教科書会社であれば、同じサイズ、技術と家庭で色分けされているので、生徒には分かりやすい。UDの視点からもその方がよいのではないか。

〈委員〉プログラミング言語としては何を扱っているか。スクラッチかジャバスクリプトか。

〈調査員〉学習指導要領には絶対にこれを使いなさいという記述はない。スクラッチでもプログラミングは学べるし、ジャバスクリプト、Pythonでも学べる。例えばブロック型で作ったものをジャバスクリプトに変換しなさいという命令をアプリに入れば、それが文書になって出てくる。ブロックで作ったこうだが、実際にはこうやって文字を打つんだということを示すことで、高校の学習につながる。

〈委員〉デジタルコンテンツの中身はどうか。

〈調査員〉実際の授業では実験等できる時間があまりない。しかし、このように点滅するとか、このようにのこぎり引きをすると綺麗に引けるといった動画があるので、家に持ち帰ったときに生徒がQRコードを読み取って動画を見れば、学習効率が上がる。

〈委 員〉授業の中でというよりも、自分が課題解決のために見るということか。

〈調査員〉授業の中でも当然、使うことはできる。

〈委 員〉開隆堂に「情報モラル」とあるが、他社はどうか。

〈調査員〉他社にもあるが、開隆堂の場合、最初のガイダンスで学ぶことができる。

〈委 員〉つまり、情報モラルを大事にしようということか。

〈調査員〉はい。

※調査員退室

〈会 長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委 員〉開隆堂に「Scratchなどブロック型言語」とある。他のプログラミング言語は扱われないのかと思って質問した。例えばジャバスクリプトに変換して扱うことができるということなので問題ない。

〈委 員〉情報モラルはどの社も扱っているとのことだが、「デジタルシティズンシップ」という踏み込んだ扱いがあるということで開隆堂がよいのではないか。

〈委 員〉中・西部は東京書籍。どこがよいか考えたが、東京書籍に変える必要性は特にはないのではないか。

〈会 長〉開隆堂がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、技術は開隆堂で決定してよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉全会一致で、技術は開隆堂に決定する。採択理由は「各内容とも『導入』『基礎学習』『展開』『まとめ・評価』の順で構成されている。生徒は系統的に学習し、知識・技能を習得できる。『学習課題』と『CHECK』により、自己の学びを調整して深い学びにつなげることもできる。『実験』や『やってみよう』で、他者と関わりながら理解を深める工夫もある。プログラミングでは、ブロック型言語を中心に問題解決しやすい実習例が示されている。タブレット端末等のルールやマナー、デジタルシティズンシップ等の情報モラルについても、『ガイダンス』で学習できる。必要な箇所にQRコードが示されており、生徒は主体的かつ効果的に学習を進めることができる。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

家庭

〈会 長〉家庭の対象は4社。現在使用しているのは開隆堂。報告をお願いする。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉東京書籍の表紙には未来感がある。これ以外に何が違うか。

〈調査員〉東京書籍の表紙については、将来を見据えたデザインか。外国人への配慮、多様性への配慮は、どの社でもあるがなされている。デジタルコンテンツが豊富なのは東京書籍。そのようなところも表紙のデザインに関連しているか。

〈委 員〉他社でもそのことはあるか。

〈調査員〉はい。

〈委 員〉東京書籍だけが特化しているのか。

〈調査員〉東京書籍だけが特化しているわけではない。

〈委員〉東京書籍のテーマは「自立と共生を目指して」。教育図書は「暮らしを創造する」。中身も違うか。

〈調査員〉違う。A、B、Cの3つの学習内容があるが、東京書籍はAの前半の自立という部分を最初にもってきて、B、Cを学習した後に、Aの後半の共生という部分をもってきている。3年生の最後に「みんなで共生して地域に出るんだよ」と意識づける構成になっている。

〈委員〉開隆堂のテーマは「自立しともに支え合う生活へ」。同じようなパターンになっているのか。

〈調査員〉開隆堂はA、B、Cそのままの流れ。東京書籍とは違う。

〈委員〉東京書籍には「家庭分野の見方・考え方について図で示され、まとまりのある学習を意識」、開隆堂には「学びを深め、課題解決を目指す」、教育図書には「学習を深め、生活に活かそうとする態度」とある。どういうことか。

〈調査員〉すべての内容に、このような流れで学習したらこのような力がつくということが示されている。

〈委員〉実際に授業をする中で、これが特に合うということはあるか。

〈調査員〉現在開隆堂を使用しているので、教員の目としては開隆堂が見やすい。流れが図示されていたり思考ツールであったり、そのような部分では東京書籍が見やすい。

〈委員〉東京書籍や教育図書には「自立」という言葉がある。東京書籍は自立を意識した構成になっている。教育図書には「自立度チェック」が意図的に含まれている。開隆堂には「自立」という言葉が使われていなかったが、これまでの説明を聞いて含まれていると分かった。逆に、開隆堂には「話し合ってみよう」などの項目が設定されていて、「生徒同士が考えを表現し合いながら学習できる」とか「意見交換を促す学習活動が多数」とか、他者意識に係る説明がある。東京書籍や教育図書ではどうか。

〈調査員〉東京書籍や教育図書でも同じような項目が設定されていて、生徒同士が対話する場面が取り入れられている。教育図書では自分の考えを教科書に直接書くページも設定されている。

※調査員退室

〈会長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委員〉教科書会社を変える必要性はなさそう。

〈委員〉3社とも小学校との関連は明記してあった。消費者教育について社会(公民)とリンクしているところも多かったが、意識して明記してあったのは開隆堂。他教科との関連が図られているのではないか。

〈会長〉開隆堂がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、家庭は開隆堂で決定してよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉全会一致で、家庭は開隆堂に決定する。採択理由は「すべての分野で、『自分の興味・関心を大切に』の導入により主体的な学びを促し、その後、『言葉・体・頭を使って人やもの、事柄と対話』して学びを深め、課題解決を目指す構成である。小单元ごとに学習内容に関連する質問や生活を振り返る一言が添えられ、自分の生活と関連づけながら学習を進めることができる。『話し合ってみよう』など、生徒同士が考えを表現し合う活動も多数取り入れられている。『消費生活・環境』と社会科(公民的分野)のように他教科や小学校との関連が表示されており、学びの流れを意識できるよう工夫されている。デジタルコンテンツも多く用意されている。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

英語

〈会 長〉英語の対象は6社。現在使用しているのは東京書籍。報告をお願いします。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉国際理解教育の視点はあったか。

〈調査員〉どの社も、生徒が興味をもちそうな国際的な話題を取り上げている。

〈委 員〉外国とつながることのよさといった視点はあったか。

〈調査員〉どの社も、他の国の同年代の子どもたちがどのような生活をしているか取り上げている。

〈委 員〉特にこの社がではなく、どの社もか。

〈調査員〉はい。

〈委 員〉東京書籍に「スムーズな小中接続が可能となる工夫がなされている」とある。他社はどうか。

〈調査員〉現在、小学校で使用されているのが東京書籍。中1は、特に小5、小6と同じような作り方が意識されていて取り組みやすいと感じた。他社でも小学校で扱われた語彙や表現が注意書きされているが、小学校と同じ東京書籍が生徒にとっては一番取り組みやすいのではないか。

〈委 員〉小学校が東京書籍なので、中学校でも東京書籍の方が生徒にとってよいということか。

〈調査員〉はい。作り方が似ているので、東京書籍は取り組みやすい。

〈委 員〉デジタル教科書との関連はどうか。

〈調査員〉どの社にもデジタル教科書はついている。特に「まなびリンク」がある教育出版は、教員が生徒の学習状況を把握しやすい。他社は、映像資料や練習問題がQRコードを読み取れば利用できるというあたりで、大きな差はない。

〈委 員〉デジタルコンテンツで音声が利用できるというのは、読み方のまねをする学習に使うということか。

〈調査員〉はい。個別最適な学びという視点で、どうしても一斉授業の中では難しいところを、個人が家に帰って学習するときに補う、家庭学習との連携が意図されている。

〈委 員〉スピードを変えることはできるか。

〈調査員〉確認していないが、デジタル教科書ではできるので、おそらくできるのではないか。

〈委 員〉新採や若手の教員が授業づくりをしやすい、あるいはOJTの助けになりそうといった視点での議論はどうか。

〈調査員〉取り扱わなければならない量については議論した。その点では開隆堂が使いやすい。

〈委 員〉三省堂に「スモールトーク」とあるが、他社はどうか。

〈調査員〉現在、英語学習の中にスモールトークを取り入れようという動きがあるので、どの社も、三省堂ほどでないにしても、散りばめられている。

〈委 員〉例えばAIが搭載されていて、こちらから言えば対話できる機能があるデジタルコンテンツはなかったか。

〈調査員〉AIのようにこちらが何か問いかけて対話的に何か返してくるというものは見られなかった。どちらかというと、ドリルであったり映像資料であったり、確認するような内容が多かった。

※調査員退室

〈会 長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。

〈委 員〉中・西部は開隆堂だが、どうか。

〈委 員〉開隆堂は東京書籍よりも内容が少なめ。東京書籍は教員が使えるものが盛りだくさんで、全部使わないといけないと思うと大変。一長一短ある。

〈委 員〉小学校で東京書籍を使っていることとのつながりという点では、東京書籍がやりやすいか。

〈委 員〉教員としては気分的にやりやすいだろう。

〈会 長〉義務教育学校としてはどうか。

〈委 員〉3年生以上は、中学校籍の教員が授業している。

〈会 長〉同じ系統で一貫した流れの方が指導しやすいか。

〈委 員〉具体的には聞いていないが、おそらくそうだろう。

〈会 長〉東京書籍がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、英語は東京書籍で決定してよろしいか。

〈全 員〉はい。

〈会 長〉全会一致で、英語は東京書籍に決定する。採択の理由は「1年の冒頭は小学校で学習した言語材料を振り返りながら『書く』活動につなげる構成であり、スムーズな小中接続が可能である。各学年ともに『聞く』『話す』活動から『読む』『書く』活動へとつなげる構成である。各単元末には単元を通して身につけた知識・技能を使って活動する場面があり、思考力・判断力・表現力を養う工夫がなされている。各単元の冒頭に単元の目標や単元末の課題が示されており、生徒は目標意識をもって取り組むことができる。音声や動画などのデジタルコンテンツが充実しており、個別最適な学習など様々な学習形態への対応が可能である。」でよろしいか。

〈全 員〉はい。

道徳

〈会 長〉道徳の対象は7社。現在使用しているのは東京書籍。報告をお願いする。

〈調査員〉報告(報告書のとおり)

〈会 長〉報告について質問等はないか。

〈委 員〉東京書籍よりも使いやすいものはあったか。

〈調査員〉5人で議論したが、5人だけでも違った。使いやすさは教員による。

〈委 員〉全体計画や年間指導計画は教科書が軸になって組まれるのか。

〈調査員〉年間指導計画についてはそのとおり。学校行事もそうであるが、この時期はいじめについて固めてやりたいというような場合は順番を入れ替える。

〈委 員〉教科書が変わるとなると、全体計画や年間指導計画の作成は大変か。

〈調査員〉そこまで大変ではないのではないか。

〈委員〉振り返りが大切。東京書籍は学期ごと、他社は1年間をとおしてという形か。

〈調査員〉教科書の最後についているものについては、学期ごとになっている教科書もある。大体がついていた。教科書についていなくても、各学校で振り返りをしているのが現状。

〈委員〉議論することが大事。議論を促す構成がなされている教科書はあったか。

〈調査員〉どの社も工夫している。要所、要所に話し合いの仕方まで載せてある。次はこのことを考えてみよう、まずは自分でまとめを書いて、そして班で話し合ってみようといった手順まで書いてある教科書がほとんど。

※調査員退室

〈会長〉協議に入る。意見等をお願いしたい。調査員全員の意見が違っているということだったが。

〈委員〉それだけ違うということは、逆に変えるのは難しいのではないか。

〈委員〉年間指導計画を変えることはさほど問題でないと言われたが、私が教員だったときは正直なところやめてほしいと思った。培ってきた指導法、反省の上に立って次はこうしようとしていた。次回の大改訂に向けてそのままでもいいのではないか。もし変えるとなると2学期から準備が必要。次回はもっと細かくいろいろ聞いていく必要がある。

〈委員〉ワークシートや板書計画など、4年間いろいろ積み上げてきたものがある。

〈委員〉変更可能というのは、年間指導計画があった上で、学年・学級の状況によって教材を入れ替えることができるという意味で捉えた。現行の教科書で積み上げてきたものがある中で、継続して生かしていく、もう少し検討してみるのがよいのではないか。

〈会長〉東京書籍がよいのではないかという意見が多くあった。反対意見がないようであれば、道徳は東京書籍で決定してよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉全会一致で、道徳は東京書籍に決定する。採択理由は「巻末の教材一覧表に、内容項目や学習のテーマ、他教科等との関連などのほか、デジタルコンテンツについてまとめられている。朗読音声やワークシートだけでなく、動画や心情円も活用できる。各教材のタイトルページにあるQRコードの横には、読み取ることで得られる情報の内容が明記されていて活用しやすい。教材の挿入イラストや図が大きいいため、生徒は視覚的な情報が得やすく、自我関与もしやすい。『コラム PLUS』は、学習内容についてさらに考えを深めたり視野を広げたりするきっかけになる。学期ごとに自分の学びを振り返るシートも用意されている。」でよろしいか。

〈全員〉はい。

〈会長〉以上で全16種目の採択を終了する。採択する教科書を再度確認する。国語は光村図書、書写は光村図書、地理は帝国書院、歴史は東京書籍、公民は東京書籍、地図は帝国書院、数学は啓林館、理科は啓林館、音楽一般は教育芸術社、器楽合奏は教育芸術社、美術は日本文教出版、保健体育は東京書籍、技術は開隆堂、家庭は開隆堂、外国語は東京書籍、道徳は東京書籍で間違いはないか。

〈全員〉はい。

3 今後の採択業務スケジュールについて

(1)地教委採択及び県教委への採択結果報告について(事務局)

○本日の採択結果については、取り急ぎ、各地教委教育長宛にメールで送付する。それを受けて、各地教委で教育委員会を開催し、決定していただく。8月2日までに事務局へ報告をお願いしたい。8月6日までにその結果を各地教委へ報告させていただく。各地教委の決定が協議会と異なった場合は、緊急に集まって再度協議していただくことになる。

○各地教委から県教委への報告は8月30日までにお願いしたい。

(2)採択結果等の公開について(事務局)

○本協議会の期間は8月31日までである。9月1日以降、採択結果、協議会委員及び調査員の氏名、議事録を、事務局である鳥取市のホームページで公開する。

○第2回の議事録は、第1回の議事録と併せて各委員に送付し、確認していただく。

○調査員が作成した研究調査報告書は公開しないが、9月1日以降、求められれば開示する。

○各地教委が作成した情報以外であっても、持っていれば開示の対象となる。本協議会で作成した資料については、同様なものを各地教委に渡している。それをもとに、各地教委で採択協議を行う。よって、本協議会に開示請求があっても、各地教委に開示請求があっても、開示する情報は同じである。各地教委で情報公開条例が異なることにより、開示請求者が不利益を被るようであれば、他の地教委に対して開示請求をすればよい。

〈会 長〉このことについて質問等はないか。スケジュールに間違いはないか。それでは各教育委員会で採択をお願いしたい。

〈委 員〉地教委に見本本が来ているが、今後の取扱いについてはどうか。

〈事務局〉本協議会の期間までは保管していただきたい。それ以降については、例えば各学校の教材研究用に貸し出すなど、適切な処理をお願いしたい。

〈会 長〉他に質問等はないか。何か不明な点等があれば事務局に問い合わせていただきたい。

4 閉会挨拶(藪田副会長)

朝から長時間慎重審議、本当にありがとうございました。お疲れ様でございました。教科書会社が変わると現場の負担が増えるということで、そういう心配をしておりましたが、今回は変わらず、いわゆる現場に負担をかけることが極力少ないのかなと思っております。今後はそれぞれの地教委でこの結果を尊重していただきまして、全会一致で認めていただくことが必要になるかと思っておりますので、それぞれよろしくお願いいたします。この後もいろいろまだ手続きがあるわけですが、皆様には大変お手数をおかけしました。調査員の先生方にもお礼を申し上げたいと思いますし、事務局の皆さんも本当に御多用のところ御対応いただきまして、本当にありがとうございました。心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。